

### 3 埋蔵文化財の保存の充実

#### (1) 埋蔵文化財保存体制

県土の開発の進展にともない開発側との事前協議が増加しているが、遺跡の保存に対する県民の関心も高まっており、埋蔵文化財保存対策が急務となっている。そのため、発掘調査体制を年々強化し、財福島県文化センター遺跡調査課に逐次定数増加を進めてきた。現在、財団職員30名（嘱託1名）、派遣職員32名、計62名となっている。

財 福島県文化センター遺跡調査課職員定数

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60
人員	5	9	15	20	23	26	26	30	40
年度	61	62	63	元	2	3	4	5	6
人員	44	47	47	55	60	60	62	62	62

#### (2) 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、①遺跡の所在・範囲・性格等を明らかにする「分布調査」の結果により、②事業者と保護策を「保存協議」し、③現状保存できない場合は、「発掘調査」により調査報告書を作成し「記録保存」することで対応している。

##### (ア) 分布調査

開発地内の詳細な分布調査を行い、遺跡の保存対策の資料とするもので、表面調査と試掘調査が行われる。試掘調査は国営母畑地区内の1遺跡、東北縦貫道安積パーキング1遺跡、常磐道路線内16遺跡、原町火発1遺跡について実施した。

##### (イ) 保存協議

前年度からの継続協議を含め、次の事業について関係機関と保存協議を実施した。

国営は場整備母畑地区、東北横断自動車道、原町火力発電所、請戸川農水事業、一般国道6号バイパス、東北縦貫道、常磐道、摺上川ダム、三春ダム、相馬地域開発・福島空港及び県内各地の県営は場整備等の関係機関、国道・県道の工事事務所等。

##### (ウ) 発掘調査

県教育委員会では、開発に伴う発掘調査を(財)福島県文化センターに委託し、下記の遺跡につき実施した。

母畑地区 大日原C遺跡(1,500㎡)、常磐道 久原A遺跡ほか8遺跡(39,000㎡)、三春ダム 越田和遺跡(9,450㎡)、原町火発 大船迫A遺跡ほか3遺跡(47,560㎡)、請戸川農水 荻原遺跡ほか1遺跡(4,150㎡)、相馬開発 古川尻B遺跡ほか1遺跡(20,600㎡)、東北縦貫道 勝利ヶ岡遺跡(6,950㎡)、摺上川ダム 弓手原A遺跡ほか1遺跡(31,000㎡)の合計21遺跡(160,240㎡)である。

また、県内の各市町村における開発事業関連の発掘調査は、市町村教育委員会が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制を考慮し、必要に応じ県が指導している。

主なものは、以下である。

市町村名	遺跡名		市町村名	遺跡名
福島市	勝口前畑遺跡	県	川俣町	梅窪館跡
〃	富山遺跡		〃	峯崎遺跡
〃	月崎A遺跡		本宮町	百目木遺跡
〃	八郎内遺跡		〃	上原遺跡
〃	大森城跡		岩代町	小浜城跡
〃	大鳥城跡		月館町	川原遺跡
〃	隈ヶ城跡		伊達町	中畑遺跡
〃	外大貝遺跡		桑折町	平沢寺一本松経塚疑定地
〃	上ノ寺遺跡		郡山市	古館遺跡
〃	宮畑遺跡		〃	咲田遺跡
〃	山ノ下遺跡	北	〃	東山田遺跡
〃	大平遺跡		〃	安部遺跡
〃	浜井場遺跡		〃	木村館跡
〃	杉ノ内遺跡		〃	雪村庵
〃	田中内南遺跡		〃	横川館跡B
〃	稲荷塚古墳		〃	夢田遺跡
〃	西B・C遺跡		〃	妙音寺遺跡
〃	弓手原A遺跡		〃	岩ヶ作遺跡
〃	獅子内遺跡		〃	石橋A遺跡
〃	向畑遺跡		〃	石橋B遺跡
〃	西ノ向B遺跡	県	〃	勝利ヶ岡遺跡
〃	西ノ前遺跡		須賀川市	上ノ代遺跡
大玉村	三合目遺跡		〃	万力館跡
〃	南町遺跡		〃	仲林遺跡
〃	住吉B遺跡		〃	乙字ヶ滝遺跡
〃	大垣遺跡		大越町	中平A遺跡
〃	玉貫遺跡		〃	猪狩治郎エ門屋敷遺跡
梁川町	東土橋遺跡		天栄村	明堂遺跡
〃	輪王寺跡遺跡		平田村	江名籠D遺跡
〃	矢矧田遺跡		船引町	三百成遺跡
二本松市	八万館遺跡	石川町	古内A遺跡	
〃	高田館	常葉町	富岡遺跡	
〃	二本松城址	長沼町	西町B遺跡	
保原町	大鳥城跡	小野町	鶴庭遺跡	
〃	保原城跡	滝根町	寺畑遺跡	